

こどもの歯とお口の健康づくり

—「よく噛んで食べる」を育むために—

You Tube 配信期間

令和5年 3月31日(金) 12:00(正午)

令和5年 8月31日(木) 12:00(正午)

下記のQRコードからご視聴できます。



「食べる」ははじめての新しいこと



日本歯科大学生命歯学部
小児歯科学講座

な おい さち え
講師 **名生 幸恵**



赤ちゃんがおっぱいを飲む「哺乳」と、離乳食を食べる「離乳」は、どちらも健やかな身体をつくるための大切な栄養摂取行動ですが、似て非なる大きな違いがあります。哺乳と離乳、それぞれの時期において、生涯を通して元気で美味しく食べるために、赤ちゃん自身に学んでほしい口(特に舌)の動きがあるのですが、そのコーチ役は子育て中のみなさんです。歯科医師が関わるお子さん一人ひとりの様子を診ながらの食育についてご紹介します。成長著しいお子さんたちの健康な毎日とお口とお顔のよりよい発育・発達につながれば幸いです。

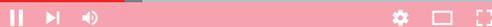


気になる子供の歯並びの治療



東京都町田市歯科医師会 会員

ふな き じゅんぞう
医学博士 **船木 純三**



従来、矯正歯科治療は長期間がかかり、費用も高額で治療中は外見が悪くないと言われてきました。しかし、最近の健康ブームのためか歯の大切さや歯並びの重要性が理解されてきています。一方、患者さんにとって矯正歯科の知識は「インターネット」や「友人のロコミ」などが多く、必ずしもすべてが正しいかは不明です。今回、このような状況の中で、できるだけ公的機関としてわかりやすく、お子様方の矯正歯科治療についてお話したいと思います。

